

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2026年4月9日(木)

NO. 1670号

本号3頁

「9条守れ」市民と野党共同アクション 7野党代表訴え 池袋

「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」(市民連合)は5日夜、東京・池袋駅前
で、市民と野党の共同アクション「NO WAR! YES 9条 ペンライト集会」を行いました。
2月22日に続く第2回。戦後最大の改憲の危機が迫るもと、色とりどりのペンライトと「戦争
反対」と書かれたボードを持った6000人の参加者(主催者発表)は「改憲反対」「みんなの力で政
治を変えよう」とコールしました。7野党の代表も参加。日本共産党からは田村智子委員長、小池
晃書記局長、山添拓政策委員長が参加。原田ひろみ東京・清瀬市長がスペシャルゲストとして登壇
しました。

主催者あいさつした市民連合の佐々木寛共同代表は「絶対に戦争しないと誓って憲法が生まれ
た。歴史をつくるのはいつも民衆。紛争を止めるのも民主主義による希望をつくるのも私たち。信
じられる未来をつくりましょう」と語りました。

市民連合の女性たちを中心とするフェミブリッジ東京の長尾詩子さんは絵本「戦争するの作り
方」の内容が、安保関連法が定めた集団的自衛権、スパイ防止法、防衛増税など今の国会情勢とリ
ンクしていると指摘。「日本が戦争する国、世界中の戦争を肯定する国になっていくことは許せま
せん。ともに戦争させない国をつくっていきましょう」と呼びかけました。ピースボード共同代表
の川崎哲さんが平和憲法と核兵器禁止条約を通じて核も戦争もない世界をつくること、全国一般労
働組合の東京南部委員長の中島由美子さんが反戦と労働組合について訴えました。

共産党の田村委員長は「市民の声が、戦争を止め、戦争にいかなる協力もさせない一番の力とな
る」と力を込め、「日本政府が戦争を終わらせる立場に明確にたつことを求めよう」「イラン攻撃を
もう終わらせようの声を一緒にあげよう」と呼び掛け、大きな拍手を受けました。

社会民主党の福島みずほ党首、新社会党の岡崎ひろみ委員長、中道改革連合の吉田はるみ前衆院
議員、れいわ新撰組の高井たかし副幹事長、緑の党グリーンズジャパンの漢人あきこ都議、生活者
ネットワークの岩永やす代都議がマイクを握りました。

スペシャルゲストとして原田博美清瀬市長が登壇。地域図書館だけでなく公共の役割が投げ捨て
られていると述べ、「人々の生活の困難に向き合わず、民意かすら離れた政治、憲法を無視した政
治は必ず間違った方向にいつてしまう。平和の裡に生きる権利を子どもたちに保障していく責任を
私は市長として果たしていきたい」と表明。すると、会場の参加者は「頑張れ!」とエールを送り
ました。

新潟「日本を100年先も続けるため、平和な日本を100年も」

イラン攻撃反対などを訴えるペンライト連帯体行動が4日、新潟駅前で行わ
れました。融資の呼びかけにSNSを見た市民ら130人以上が参加し、リレート
ークや「戦争絶対反対」「憲法を守れ」などのコールを響かせました。

「パレスチナ連帯スタンディングを毎月続けてきた。『続けても意味がない』
という人がいるけれど、これだけ多くの人が戦争に反対していることが大事」。
高校2年生の男性は「国民の意見をおいてけぼりの改憲の議論はおかしい。若い人も一緒に考える
場をつくって、平和な日本を100年先も続けるため、憲法をまもりたい」と声を上げました。

中学3年生と小学5年生の姉妹は「9条・平和主義を変えられたら、私たちが戦争に行くことにな
るかもと不安。私でも戦争反対ということが大切と思い参加した」。3歳児を抱えて参加した母親
は「イランへ先制攻撃した米国は正当化できないのに、高市首相はトランプを支持するのはおかし



い」。女性(50代)は「このまま勝手放題では戦争や生活の先行きが不安。怒りの声を示したい」と話していました。

仙台 市民連合@みやぎが呼びかけ、200人を超える市民が参加。

国会前の「平和憲法を守るための緊急アクション」に呼応するペンライト集会在3日、仙台市の中央通り商店街で初めて取り組まれました。

市民連合@みやぎが呼びかけ、200人を超える市民が参加。ラップのリズムに合わせ、「武力で平和はつukれない」「平和憲法は世界の宝」とコールしました。

持ち寄ったペンライトを振りながらリレートークでアピール。飛び入りで「戦争反対。憲法守れ」とコールする若者の姿も。初めてマイクを握るという女性は「イランの小学生がたくさん殺され、苦しくなりました。それに抗議しない高市さんに怒りを感じる。早く戦争を終わらせたい」と訴えました。

初参加の仙台市の30代の女性は「高市首相になって戦争に向かっているようで怖い。一人でも多くの方が反対すべきだと思って参加しました」と語り、同じく初参加の27歳の男性は「イランとガザの状況利中で、集団的自衛権を制定してきた自民党に反対したいと思ってきた」と話しました。

名取市の29歳の女性は「政治で不安が多い。福祉もちゃんとしてほしいし、戦争できるようになったらどうしようと不安です」と述べ、19歳の男子学生は「どんどん戦争へ道を進んでいて、この状態で何も言わないのは肯定することになると思う。反対の意思を示すためにここに立ちました」と語りました。

パレスチナ「子どもの日」 ガザ子ども死者2万1000人超 イスラエルに西岸で収監350人

パレスチナ自治政府が子どもの権利擁護を訴える目的で定めた「子どもの日」にあたる5日、ガザ地区保健局は、イスラエルの侵攻による子どもの被害統計を発表しました。

23年10月から現在までに、2万1510人以上の子どもが死亡し、うち5歳未満は5305人、1歳未満は269人に上ります。4万1283人以上が負傷し、うち864人が四肢切断、1268人が脳や脊髄に損傷を負っています。4000人の子どもが域外での治療を必要としながら、移送の機会を待っています。

父親を失った子どもは4万9758人、母親を失った子どもは6103人、両親を失った子どもは2693人に上ります。

ムニール・バルス保健局長は本紙の取材に、「この統計は、時間の経過とともに忘れ去られる一過性の数字ではなく、子ども時代そのものを奪う完全な犯罪を示すものだ」と指摘。「急いで大人にならざるをえない子どもたちは、単なる被害者にとどまらず、参加の生き証人となり、その身に深い心の傷を刻まれている」と強調しました。

人権団体「パレスチナ囚人クラブ」も同日、声明を発表し、ヨルダン川西岸で現在約350人の子どもたちがイスラエルの刑務所に収監されていると発表しました。

声明によると、イスラエルのガザ侵攻以来、ヨルダン川西岸では、1700人以上の子どもたちがイスラエルに収監されてきました。ガザ地区の子どもたちも数十人以上が収監されてきましたが、強制失踪(秘密裏の拘束による消息不明)、面会謝絶、通信遮断により、正確な人数の把握や安否確認は困難な状況です。

同団体は、「子どもたちの拘束は、例外的でも緊急措置でもなく、長年の組織的な政策」だと指摘し、「抑圧を通じて世代全体を隷属させる明確な意図がある」と告発しました。

生活保護利用者の自殺 150人が「生活苦」理由

「生活苦」を理由に自殺した生活保護利用者が、2025年の1年間に150人に上り、22年以降最多になったことが3日までに、分かりました。国が生存権(憲法25条)に基づき保障すべき保護利用者の生活が「最低限度」にすらとどいていないことが、最悪の形で示されました。

3月27日に発表された厚生労働省・警察庁合同の統計で分かりました。それによると、25年の生活保護利用者の自殺者1095人のうち、遺書など生前の資料や遺族の証言などから判明した理由で、「生活苦」に当たる人が150人でした。

最多となった理由は「病気の悩み・影響（うつ病）」で213人でした。次いで2番目に多かった理由が「生活苦」でした。ほかに「家族の死亡」などもありました。

生活保護利用者の自殺の理由を公表し始めた22年以降、「生活苦」による自殺者数は22年86人、23年118人、24年131人と毎年増加しています。

国の生活保護基準の大幅引き下げを是正しようと取り組む市民団体「いのちのとりで裁判全国アクション」共同代表の尾藤廣喜弁護士は、背景に利用者の社会的孤立があるのではないかと指摘。同裁判で名古屋高裁判決（23年11月）が利用者の社会的孤立の深刻さを挙げて国の賠償責任を認めたことは重要だったと語っています。

「憲法9条に助けられたのではないか」と尋ねると、 首相は「助けられる、助けられないではない」と

立憲民主党の杉尾秀哉参院議員は7日の参院予算委員会で、3月の日米首脳会談と絡めて、高市早苗首相に対し憲法9条改正を「任期中は封印するのか」とただしました。首相は憲法尊重擁護義務を挙げつつ「それは別問題」とかわしました。杉尾氏は、今井尚哉内閣官房参与がホルムズ海峡へ自衛隊を派遣する意向だったという首相を阻止したと報じる月刊誌の記事について、首相は「完全な誤報」と否定しました。

高市首相は日米首脳会談で、トランプ大統領が各国に要請するホルムズ海峡への艦船派遣に関し、憲法を含む国内法の制約を説明したと既に明らかにしています。

杉尾氏が「憲法9条に助けられたのではないか」と尋ねると、首相は「憲法に基づく法律の範囲内で日本ができることできないことを申し上げている。助けられる、助けられないではない」と指摘しました。

杉尾氏は首相に対し「持論通り9条を改正し、自衛隊を派遣したいか」とも切り込みました。首相は「9条を改正しても、戦闘が行われている所に自衛隊を派遣できる内容になるかどうかは国会で議論される。予測はつかない」と述べるにとどめました。

杉尾氏によれば、高市首相は最近「護憲派」と一部で呼称されているという。これに対し、首相は「護憲派は当たり前だ。憲法を尊重し擁護する義務はみんなにある」と反論しました。

杉尾氏は「では、憲法改正の持論は任期中は封印されることでいいですね」とたたみかけたが、首相は「それは別問題です」とやんわり否定しました。

月刊誌「選択」4月号は、首相について日米首脳会談の前、ホルムズ海峡へ自衛隊を派遣する腹積もりでいたとし、今井氏が「国難だ」と怒って首相執務室に乗り込み、首相と激論になったなどと報じています。

杉尾氏は「選択」の報道を紹介し、「総理は当初、トランプ氏の要請に応じて自衛隊を派遣する腹積もりだったと。報道は事実か」と尋ねました。これに対し、首相は「事実ではございません」と否定しました。

杉尾氏は「聞いた話でも今井氏はかなり強硬に反対された」とも追及したが、首相は「完全な誤報だ。今井氏の名誉のために言うが、そのような話をしに来たことはない」と完全否定しました。

本日 衆院憲法審査会 11時から開催

衆院憲法審査会は本日午前11時より開催されます。自由討議となります。

同時中継が行われますので、国会に来られない方は、衆院⇒憲法審査会と入って、テレビで視聴してください。

なお、今回は今国会2回目の開催となります。1回目は、2月20日（金）に 会長及び幹事の互選 が行われました。